

令和5年度第1回愛媛大学教育・学生支援機構  
教育企画室共同利用運営委員会 議事概要

1. 日 時： 令和5年10月13日（金） 15：30～17：30
2. 方 法： オンライン開催（Zoom）
3. 出席者： 中井委員長、杉森委員、桐野委員、榊原委員、丸山委員、竹山委員、小林委員  
陪席者： （愛媛大学）教育企画室 上月講師、坂本特定研究員  
教育企画課 高木課長、石川副課長、進藤TL、門田部員

4. 議 題：

（1）令和5年度教職員能力開発拠点の事業について

中井委員長から資料に基づき、令和5年度の活動計画について説明があった。また、事務担当から支出計画について説明があった。

続いて、組織開発支援を中心に今年度上半期の活動報告があり、意見交換がなされた。

<主な意見等>

- ・オンラインコンテンツが充実しているため、対面研修への参加のハードルは高くなっているのではないかと。対面での人的交流の充実度をうまく広報できると良い。
- ・全国的に、研修の集客面において、コロナ禍（2020年度～2022年度）は盛況だったが、今年度になって、対面・オンライン共に参加者数が減少しており、苦労している。
- ・人材の確保が難しくなっていると感じている。クロスアポイントメント的な制度の運用が可能なら、是非、愛媛大学発信のモデルケースとして拡大していただきたい。

（2）第4期申請について

中井委員長から資料に基づき、本拠点の第3期活動の特徴及び第4期の基本方針（案）について説明があった。その後、第4期申請に向け、活発な意見交換がなされた。

<主な意見等>

- ・これまでの取組との継続性や持続的発展が大きく書かれているが、もう少し新規性のある目玉箇所を分かりやすく書いた方がよいのではないかと。
- ・教職員能力開発拠点が実施している研修について、委員による研修評価制度を実施するのはどうか（例：委員による研修視察）。
- ・所定の講義をいくつか受講するとオープンバッジを発行する、といった運用を検討してはどうか。
- ・専門人材の活動促進は非常に良い取組である。ライセンスを付与することで特に職員にとってはそれが自信となる。
- ・プレFDに対して、プレSDはあまり聞かないので、新人職員を対象として検討してはどうか。
- ・プログラム開発の一環として、大学業界を対象としない企業主催の研修を受講するのはどうか。受講料は高額であるが、それらを参考に研修を開発することができる。
- ・研修広報等の強化に繋がると思うので、独自のメーリングリストを作成してはどうか。
- ・SDC認定後のフォローアップは実施しているか（例：活動の発表の場を設ける等）。私立大学協会としても活

動を紹介する場（教育学術新聞への掲載）を提供することは可能である。

その他

- ・次回の本委員会は、2月中旬～3月上旬に愛媛大学での対面開催を予定。

令和5年度第2回愛媛大学教育・学生支援機構  
教育企画室共同利用運営委員会 議事概要

1. 日 時： 令和6年2月22日（木） 15：00～17：00
2. 場 所： 愛媛大学城北キャンパス E.U. Regional Commons（ひめテラス）3階 地域サステナビリティスペース
3. 出席者： 中井委員長、杉森委員、桐野委員、榊原委員、丸山委員、竹山委員、小林委員  
陪席者： （愛媛大学）教育企画室 上月講師  
教育企画課 高木課長、石川副課長、進藤TL、門田部員

4. 議 題：

（1）スタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの認定について

資料に基づき審議した結果、申請のあった2名がSDCとしての要件を満たしていると認められたため、SDCとして認定することとした。

（2）令和4年度実施状況報告書に基づく文部科学省からの指摘事項について

中井委員長から資料に基づき、令和4年度実施状況報告書に基づく文部科学省からの指摘事項について報告があった。

（3）令和5年度教職員能力開発拠点の活動報告及び予算執行状況について

中井委員長から資料に基づき、大学教育国際化コーディネーター養成講座などの新規事業や組織開発支援を中心に今年度の活動報告があった。また、事務担当から予算執行状況について報告があった。

<主な意見等>

- ・2日間ないし3日間の対面開催の研修の集客が難しいという点については、今年度JAED（日本高等教育開発協会）で開催した研修を今後の方向性として参考にするのも良いかもしれない。（事前課題を多く設定し、対面でのプログラムは1日にする。）

（4）令和6年度教職員能力開発拠点の事業計画について

中井委員長から資料に基づき、令和6年度の事業計画について説明があり、原案どおり承認された。

（5）第4期申請について

中井委員長から資料に基づき、前回の運営委員会でいただいた意見を受けて一部修正した基本方針及びポンチ絵について説明があった。その後、第4期申請に向け、活発な意見交換がなされた。

<主な意見等>

- ・入職前職員を対象としたプレSDは、個人ではなく大学にはたらきかけた方が、需要があるのではないか。
- ・組織開発については、大学によって抱える課題は異なるのではないか。どのような支援を行ったか、受講後の各組織の変化はどうか、について、まとめるもしくは分析して、その結果を発信できるとさらに良い。
- ・研修で立案した計画を組織に戻って実践するところまでを前提とするならば、自組織から単独での参加はハードルが高いため、複数人で参加することを推奨してみてはどうか。

- ・養成講座を受講後、計画を立案して実践した人の具体的なエピソードがあると良い。
- ・SDC 資格取得者の専門分野を開示した方が良い。
- ・教職員能力開発拠点のプログラムを受講後、自組織で活躍している人をロールモデルとして、積極的に宣伝してみてもいかがだろうか。